

平成23年8月21日に山口県下関市に被害をもたらした風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

8月21日7時10分頃に下関市吉母^{よしも}から同市豊浦町^{とようらちょう}大字吉永^{よしなが}にかけて、強い風による屋根瓦の捲れや落下などの被害が発生しました。

このため21日、下関地方気象台は職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。

結果については、以下の通りです。

下関市吉母から同市豊浦町大字吉永にかけて被害をもたらした風

(1) 現象の種類

この風をもたらした現象の種類は、特定できなかった。

(特定に至らなかった理由)

- ・ 被害や痕跡から推定した風向は、明らかな収束性や発散性など、竜巻やダウンバースト等の特徴的なものは見られなかった。
- ・ 聞き取り調査からも、現象の特定に結びつく目撃情報や証言を得られなかった。
- ・ 被害の発生時刻に、前線で発生した小さい低気圧が被害地付近にあった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・ 複数の住家の屋根瓦の捲れや落下があった。
- ・ 屋根瓦の飛散が見られたが、周囲の状況からF1の可能性は低いとみられる。

※この資料は、最新の情報により内容の一部訂正や追加をすることがあります。

本件の問い合わせ先
下関地方気象台 防災業務課
電話 083-234-4007